

汗青会の公開セミナー 第七回

来聴歓迎
入場無料

『稲川誠一先生が目指されたもの』 その2

稲川誠一先生が、昭和六十年（一九八五）三月二十日、満五十九歳で急逝され、三十年余となりました。長らく大垣北高校で社会科（日本史・世界史）を担当し、また学校で歴史同好会を作り、さらに自宅で同好会OBを中心とした「汗青会」を開いて多くの歴史ファンを育てられました。

しかも、昭和三十四年十二月、僅かな同志と共に岐阜県教育研究会を結成して、教育正常化に尽力されました。晩年は日本教師会の会長として、学習指導要領や教育基本法の改正を訴え、文部省に意見具申をしておられます。



その教えを受けた有志が、先生没後も毎年ご命日にご遺宅で汗青会の集いを行ってきました。それを平成二十三年から一般公開とし、先生が命懸けで取り組まれた日本にふさわしい教育の在り方や歴史の正しい見方などを、先生の著書・論文・逸話などから学び取り、今あらためて教育のあり方や歴史の見方などを、皆さんと一緒に考えていきたいと思います。

主催 汗青会

一日時 平成二十九年三月十九日（日） 午後一時半～四時

二場 所 スイトピアセンター 六階 かがやき活動室六―二

※ JR大垣駅から西方へ徒歩約十五分。有料（一回二百円）駐車場あり。

三 内容

①挨拶 (大垣北高十一期・京都産業大学名誉教授) 所 功

②講話 「アケボノスギと昭和天皇」

(大垣北高十七期・汗青会幹事) 橋本秀雄

※ 昭和天皇のこよなく愛したアケボノスギ その発見と天皇の御宸念を拝して

③講話 「男爵 井田雷堂」

(大垣北高六期・大垣市文化財審議委員) 清水 進

※幕末から明治にかけて活躍した大垣藩士井田讓 (雷堂) の生涯

④懇談 「自己紹介」「感想」「今考えていること」等々

四 申し込み 不要です。

問い合わせはHP「かんせい汗青PLAZA」亦はEmail: hahideo@nifty.com まで

【稲川誠一先生プロフィール】

大正十五年（昭和元年）（一九二六）一月生まれ。昭和二十年から八年間、東京大学文学部・同大学院卒。同三十二年から二十三年間、大垣北高教諭、同五十五年から二年間、高山短大助教授、同五十七年から三年間、聖徳学園岐阜教育大学助教授・教授、同五十五年から五年間、日本教師会会長

【おもな著作】

編著『教育刷新シリーズ』五巻（日刊工業新聞社刊） 共著『大垣市史（中世）』

『日本の教育』（日本教師会）、『ぎふの教育』（岐阜県教育懇話会）等に論文・評論多数。それらを網羅した遺稿集『日本の歴史と教育』歴史編（六二〇頁）・教育編（五六〇頁）が公開されています。後者二編は、当日、希望者に実費で頒布させて頂きます。

※「汗青」とは「青史」とも言い、正しい記録に基づく真実の歴史を意味します。